

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

≪無断転載禁止≫

レジメン番号： GAST-136

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
HER2陽性 胃がん	Tmab+SOX (Trastuzumab +S-1/OHP)	21日間	規定なし	<input checked="" type="checkbox"/> 進行/再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	中	Lancet Oncol 14: 1278-86, 2013

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
①	トラスツズマブ 生理食塩液	8mg/kg 250mL	点滴静注	初回 90分	↓																				
	トラスツズマブ 生理食塩液	6mg/kg 100mL	点滴静注	2回目以降 30分																					
②	デキサート アロキシ 生理食塩液	6.6mg 0.75mg 50mL	点滴静注	15分	↓																				
③	エルプラット 5%ブドウ糖液	130mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴静注	120分	↓																				
④	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																				
⑤	ティーエスワン	80mg/m <sup>2</sup> /日	内服	1日2回に分けて 朝夕食後	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓			

＜注意事項/備考＞

- ✓ S-1投与量：BSA<1.25m<sup>2</sup>：80mg/day、1.25≤BSA≤1.5m<sup>2</sup>：100mg/day、BSA>1.5m<sup>2</sup>：120mg/day
- ✓ S-1：他のフッ化ピリミジン系薬剤と併用禁忌（前後7日間以上の間隔を空ける） / 空腹時の内服は避ける（抗腫瘍効果減弱の可能性）
- ✓ S-1の内服タイミング：Day1の夕食後からDay15の朝食後まで
- ✓ 過敏症（L-OHP）：7-8コース前後で頻度上昇、症状は呼吸苦、かゆみ、発赤など
- ✓ 末梢神経障害（L-OHP）：急性（寒冷刺激で誘発）と慢性（知覚異常を伴う機能障害、総投与量850mg/m<sup>2</sup>より頻度上昇）
- ✓ Tmab：初回のみ8mg/kgを90分かけて投与、2回目以降は6mg/kgを30分かけて投与
- ✓ 心障害（Tmab）：トラスツズマブ投与中は定期的な心エコー検査などを用いて心機能評価を
- ✓ インフュージョンリアクション（Tmab）：投与中/後に悪寒、発熱、呼吸困難などの症状が生じる可能性あり。状況に応じて抗ヒスタミン薬や解熱鎮痛薬などの投与を検討。